

「新市合併記念」 第30回秋吉台観光まつり

秋吉台花火大会 (オープニング)

夏の秋吉台を満喫 2,000発の打上花火が鮮やかに暗闇の高原の中で打ち上げられ、光と音の共演、歓声とどよめきの渦に包まれます。西日本では見ることができない壮大な2尺玉打上花火はまさに圧巻です。また、『秋吉台市場』の開催やオープニングでは、和太鼓の演奏とレーザーによる特殊演出を行います。

日時 7月19日(土) 19時～(雨天順延)

会場 美祢市秋芳町秋吉台

ビュースポット 秋吉台カルスト展望台周辺

アクセス 中国自動車道美祢I.C.より国道435号線を秋吉台方面へ約20分

駐車台数 約3,000台(17時から駐車料金無料)

交通規制 17時～

(当日は大変混雑しますので早めにお越しください)

※無料シャトルバスを運行します

(17時～秋芳洞周辺・美祢市役所・サファリランド)

※花火大会当日17時～20時まで特別料金200円

(高校生以上)で秋芳洞に入洞出来ます



新美祢「三洞物語」～避暑地を求めて～

夏休み期間中、平均気温17℃の「秋芳洞」「大正洞」「景清洞」などを巡る共通券を販売。

期間 7月19日(土)～8月31日(日)

販売価格 大人(中学生以上) 2,000円

小人(小学生以上) 1,000円

※市内宿泊施設や観光施設の様々な特典のほか、抽選で特産品が当たります

「光と闇の祭典」night in秋吉台 (観光まつりフィナーレ)

初日の8月24日(土)17時より「山口食の満載市」「山口まるごと歴史舞台」のステージイベントや「音と光のページェント」などを実施します。

期間 8月24日(土)～30日(日)

会場 美祢市秋芳町秋吉 秋吉台カルスト展望台周辺および秋芳洞商店街

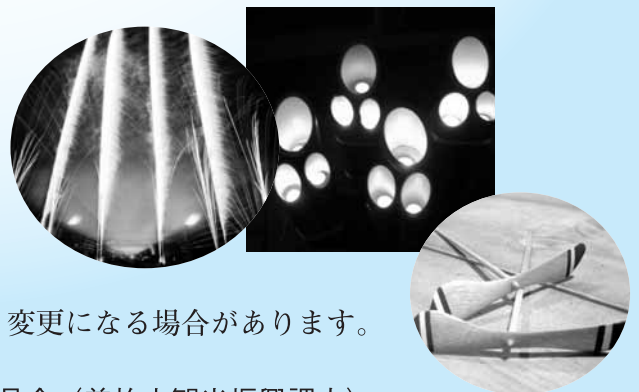
※25日以降は秋芳洞ふれあい広場で竹細工などのものづくり体験を実施します

○その他多くのイベントを開催しますが、都合により変更になる場合があります。詳しくは、問合せ先にお尋ねください。

問合せ先 秋吉台観光まつり実行委員会(美祢市観光振興課内)

☎0837-20304 ☎0837-21422

E-mail: karusuto@karusuto.com <http://karusuto.com/>



まちがど ホットライン

献穀米 お田植え式



人が見守る中、コシヒカリの苗を植えていきました。

5月24日、美東町大田の北村昌彦さんの水田で、11月23日の新嘗祭で宮中に献納する「献穀米」のお田植え式が行われました。

奉耕者の北村さんは、長年地域農業のリーダーとして農業委員、土地改良区委員などを務められ、水稲8・2ヘクタール、粟2ヘクタールなどを栽培されています。

神事後、北村さん夫婦や村田弘司市長、かすりの衣装を身につけた早乙女たちなど17人が、縄で囲まれた3アールの献穀田に入り、多くの

「大田絵堂の戦い」を顕彰しよう会から本の寄贈



6月6日、「大田絵堂の戦い」を顕彰しよう会の原川浩臣さんと山口敏昭さんが美祿市役所を訪れ、「伏してぞ止まん ぼく、宮本けいぶです」の本30冊を寄贈されました。

「大田絵堂の戦い」を顕彰しよう会では、郷土の歴史を顕彰し、過去そして現在の偉人の功績を子どもたちにも伝える活動をされており、現在の偉人として線路内に入った女性を助けるために殉職した宮本警部の本を寄贈されました。

村田市長は、「美祿市は明治維新縁の地が多数あり、それらに光を当てることによって新生美祿市を全国に発信していきたい」と述べました。

第4回矯正展が行われる



そのほか、うちら舞楽連によるよさこい踊りや豊田前保育園園児のお遊戯も披露され、矯正展を盛り上げていました。

矯正行政および受刑者の社会復帰に対する理解と協力を得ることを目的に、第4回美祿矯正展が5月25日に美祿社会復帰促進センターで開催されました。

会場では、全国の刑務所で受刑者が製作した刑務作業製品の展示販売や美祿市更生保護女性会のバザーコーナー、ふれあいセンターの野菜市などでは、多くの人で賑わっていました。また、施設見学や受刑者と同じメニューが食べられる食堂にも多くの人で賑わいました。

第11回厚東川源流八代螢祭り



6月7日、秋芳町嘉万八代の八代グランドで第11回厚東川源流八代螢祭りが、秋芳八代振興会ホタル祭り実行委員会の主催で行われました。

この日はホタル籠づくり、ホタル写真展、カーピング（チェンソー木彫細工）、特産品販売などが行われました。また、午後4時から「山口みどり歌謡ショー」やのど自慢大会が行われ、会場を訪れた人たちを楽しませていました。

午後8時から行われた、八代ホタルロードの自由観察では、参加者たちがホタルの観賞を楽しみました。